

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年4月5日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670102534
法人名	有限会社 いこいの広場
事業所名	グループホーム いこいの広場
所在地	鹿児島県鹿児島市坂之上4丁目6番13号 (電話)099-210-8230
自己評価作成日	平成29年3月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月16日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

いこいの広場の理念「ゆっくりと楽しく過ごして頂く」「明るい環境の中での笑顔に共感」「家族や地域交流を大切にする」をモットーに、入居者の皆様と共に生活を送っています。一緒に調理や縫い物、ホーム内の掃除を行なっています。また、入居者様・スタッフがゆっくりとお茶を飲みながら冗談を言い合ったりと、笑いの絶えない明るいアットホームな雰囲気を持っています。スタッフ全員が理念を念頭に入居者様を日々支援しています。

いこいの広場が、現在の場所に移転してから3年を経過します。明るく開放的なリビングと、目の前に広がる雄大な桜島を毎日見ながら生活しています。また近所にスーパーやJA、慈眼寺公園、考古歴史館、谷山神社など様々な施設があり、ドライブや季節の行事などを皆様と一緒に楽しんでいます。これから先も様々な事に挑戦し、入居者の皆様と共に過して行きたいと思えます。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、有料老人ホームに併設して建てられており、災害時や緊急時の連携が整っている。
- ・協力医療機関と24時間の医療連携体制が築かれており、訪問診療及び2週間に1回のカンファレンスにより職員と主治医・看護師の連携・協力が図られている。
- ・自治会に加入し、総会に出席したり、地域行事への参加やボランティアを受け入れ、野菜の差し入れや住民の訪問等、日頃から地域との交流を積極的に行っている。また、運営推進会議を兼ねて避難訓練を実施しており住民の参加もあり、地域の協力体制も築かれている。
- ・職員が自ら行動し介護の資質向上につながるように、職員会議等で自由な意見や提案が出るように取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	地域に根ざした理念のもと、職員一人ひとりが共通した目標をもって取り組んでいる。	理念はホールに掲示しパンフレットにも掲載している。申し送り時に唱和し理念に沿った支援を行うように理念の勉強会を実施し、実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣の方々が気軽に訪問できる様に、普段から交流している。また近所の畑で取れた野菜など持って来て頂いたりしている。	自治会に加入し、総会や地域行事に参加している。住民の気軽な訪問や野菜の差し入れ、尺八演奏のボランティア等を受け入れて、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議や町内会の話し合いに参加し地域の方々に理解して頂ける様に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会を通して、様々な支援の方法を伝えたりしている。民生委員や近所の方々など参加頂きサービスの向上に行かせる様に取り組んでいる。</p>	<p>定期的に会議を開催している。利用者の状況や事業所の行事・状況報告をしている。参加者からの情報や家族の貴重な提案などを聞き、サービス向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>定期的に連絡を取り合ったり、訪問に来て頂いている。また介護相談員にも訪問頂き取り組んでいる。</p>	<p>日頃から報告や相談に支所の窓口に出向き、担当者と協力関係を築いている。市及び地域包括支援センターの研修に参加し、情報収集及び意見交換に努めている。市の介護相談員を受け入れ意見やアドバイスをもらっている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないという強い意志を持って取り組んでいる。また管理者を中心とした身体拘束廃止委員会を定期的に開催している。</p>	<p>マニュアルを作成しており、外部研修で高齢者虐待防止研修に参加し内部で伝達講習をしている。身体拘束廃止委員会の定期的開催で、職員の理解を深めている。言葉遣いで気付いた時はその場で注意している。日中は玄関の施錠はせず、廊下のカメラも活用し職員の目配りで安全で制限のない見守り介護に徹している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止などの研修に参加し、それを職員一人ひとりが理解し、虐待をしない・起こさないに注意し、虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>いつでも活用し支援出来る様に制度について学習している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約や、解約などの際には、不安・疑問点が無くなるまでしっかりと話を伺い、十分な説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会に参加して頂き、民生委員や地域包括支援センター等の外部の方々を交え、意見要望が反映出来る様に取り組んでいる。</p>	<p>利用者は生活の中で聞くように努めている。介護相談員の面談でも意見を聞いている。家族は面会時や担当者会議・敬老会を兼ねた家族会等で意見を聞くようにしている。「日光浴をさせて欲しい」「お弁当を持って花見に行きたい。」との要望に対し、ウッドデッキの設置と花見弁当を計画している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者に職員会議やミーティングの際に、意見や提案を述べる機会を設けている。</p>	<p>毎月の職員会議で意見を聞く機会を設けて行事や備品購入等、自由に話し合っている。業務分担も職員が話し合っていて決めているので、スムーズに業務ができている。気付きノートの記入方法や週間当番表の見直し等、業務の改善に活かしている。個別相談は管理者が気軽に応じている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者は職員一人ひとりの状況を把握し、向上心をもって働いていけるように取り組んでいる。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は職員一人ひとりに対して、内部・外部の研修を受ける機会を設け取り組んでいる。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部での研修会などスタッフが交代で参加し、同業者と交流し意見交換など行なって取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居された時は特に不安や心配な事があるので、安心される様な声かけに努め、信頼関係が構築できる様に取り組んでいる。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様の不安や心配な事を十分傾聴し信頼関係が早い内に構築出来る様に取り組んでいる。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人、ご家族様に話を伺いながら、今何のサービスを優先すべきかを見極め提供し対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>毎日の生活を通して、入居者様から気軽に声をかけて頂ける様な環境を作り取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人とご家族様絆が途切れない様に、面会時など本人の思いや要望を伝え、ご家族様の協力を得ながら共に支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様に声をかけ協力を頂きながら馴染みの場所やお墓参りなどに出かけたりと、これまでの関係が途切れない様に取り組んでいる。	家族の協力を得て、面会や墓参り・外食・買い物・法事等の外出・外泊をしている。ホームでも自宅付近へのドライブや年賀状作成・電話取り次ぎ等の支援を行い、これまでの関係を継続できるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立する入居者様が出来ない様に職員が間に入り、入居者様同士が良い関係でいられる様に取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所されても、こちらから定期的に連絡し、何か相談事が無いかなど伺い支援を継続している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ゆとりを持ちながら入居者様に話を伺ったり、ご家族の面会時など話を聞き、本人の立場になって検討し取り組んでいる。	利用者は自分の思いを話せる人が多く、自ら色々話してくれる。入浴時はゆっくりと傾聴している。困難な場合は、家族の情報を参考に職員で話し合い、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでの生活歴を伺い、なるべく本人本位の生活が送れ、良いサービスが提供出来る様に取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の記録や申し送りなどを通して、一人ひとりの有する力や心身状態の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族、関係する方々の話し合いを持ち意見を交えながら本人に取って、一番良い計画が作成出来る様に取り組んでいる。	担当者会議を利用者・家族、かかりつけ医・看護師、職員の参加で実施し、意見交換をしながら介護計画を作成している。カンファレンスは2週間毎に実施している。モニタリングは3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に計画の見直しをしている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>入居者様一人ひとりの個人記録や、気づきファイルがあるのでそれを活かしながら介護計画の見直しを行なっている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様一人ひとりのその時の状況の応じて臨機応変に対応出来るように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>入居者様がスタッフと一緒に地域の行事に参加したり、消防避難訓練にも参加して、取り組んでいる。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所時、本人はご家族としっかりと話をし納得をされた上で、かかりつけ医による適切な医療を受けられるように取り組んでいる。</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医となっている。看護師による健康管理及び定期的往診・24時間医療連携により適切な医療を受けられるよう支援している。受診は家族同行で支援している。</p>	
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様の様子がいつもと違ったり、気になった事があればすぐに相談し、医療機関に受診出来るように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院された際には、ご家族・病院関係者との情報交換を行い早期退院が出来るように取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>かかりつけ医を交え、本人・ご家族・スタッフが一緒に話し合いを持ってチームとなり支援している。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書をもっている。重度化等の場合、利用者の状態に応じて、医師・家族・職員での話し合いを行い、方針を共有し、チームで支援している。看取りの希望が多く事例もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>看護師の指導のもと、定期的に初期対応の訓練を行なっている</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署員立会いのもとに避難訓練を行なったり、地震の時はどのような動きをすれば良いのかなど指導助言を頂いている。</p>	<p>消防署の指導により年2回昼夜想定で避難訓練を実施している。火事・地震避難訓練を運営推進会議と同日に実施し、住民の参加協力を得ている。備蓄はレトルト食品・水、カセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>スタッフ全員が、入居者の人格を傷つける事が無いような声かけや支援を行ない取り組んでいる。</p>	<p>年に1回マニュアルを基に研修会を実施している。個々に合わせた呼びかけやトイレや入浴時は戸を閉めプライバシーを保護している。入室時はノックや声かけをしている。排泄の失敗時は、他の人に分からないように始末している。羞恥心に配慮し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>毎日の生活の中で本人が自己決定が出来る様な声かけを行ったり、意思表示が困難な時にはご本人にとって一番何が良いのかを考え支援している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>なるべく本人の希望に沿えるように声をかけ支援している。</p>		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	<p>一人ひとりに合わせたコーディネートや身だしなみができる様に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理のお手伝いを頂くことで、メニューに対しての話題が増え食事の際には楽しそうにされている。	個々に応じた食事形態で提供している。職員と一緒に調理の下ごしらえで食材を切ったり、皮むきや後片付け等をしている。誕生日のケーキや行事食など季節感や楽しみにも配慮している。同じテーブルで職員も一緒に食事を行い、食材から季節の話をしたり、楽しく食事ができている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食物繊維を多く含む食材を使用したり毎日の運動や水分をしっかり補給し、また一人ひとりにあった方法で取り組んでいる		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、就寝前は口腔ケアを行い、ご自分ではなかなか難しい方には、手を添え一緒に口腔ケアに取り組んでいる。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりのタイミングに合わせて声をかけ支援している。また失敗しても自尊心を傷つけ無い様にスタッフ全員で取り組んでいる。	排泄チェック表で排泄パターンを把握し、トイレ誘導・排泄に取り組んでいる。日中はトイレ誘導を行いトイレでの排泄を支援している。夜間は、本人の希望や睡眠確保の為に、個々の状況に合わせてポータブルトイレやオムツも使用している。一人ひとりの力に応じた自立支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を多く含む食材を使用したり毎日の運動や水分をしっかり補給し、また一人ひとりにあった方法で取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は毎日行なえるようにしている。一人ひとりゆったりと浴槽に浸かり、入浴の時間を楽しんでいる。	基本的に週3回の入浴を午後に実施している。希望があればいつでも入浴できるように準備している。個浴で1対1で介助しゆっくりと楽しんでいる。同性介助も行っている。入浴拒否の場合は、対応を工夫し支援している。	
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	午後のお昼寝の時間など声をかけて休んで頂いたり、就寝前には静かな環境を作り、ゆっくりと眠れるように取り組んでいる。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	皆様それぞれ、どのような薬を服用しているのかを把握しやすいように一人ひとりファイルを作成しすぐに確認できるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>皆様それぞれ得意分野があるので、調理のお手伝いを頂いたり、月2回裁縫の日を設けているので縫い物などお手伝いを頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近所のスーパーや農協など出かけている。また遠出やお墓参りなど職員のみでの対応が難しい場合には、ご家族と連絡を取り外出の支援に取り組んでいる。</p>	<p>天候の良い日は、屋外に出て日光浴や外気浴を支援している。個人的に1対1で時間をずらして散歩に出かけている。年間行事で初詣・桜やアジサイ・コスモス等の花見やミカン狩り、少人数でドライブに出かけている。近隣の野菜市場の見物にも出かけている。家族と墓参り・法事・外食等で外出や外泊をする利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>全員ではないが、買い物際にはお金を持ち買い物が出来るように支援に取り組んでいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話を掛けたり等の支援は行なっている。ご自分で掛けられない方には、職員が代理で掛け取り次いでいる。手紙もいつでも書けるように準備している。</p>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ゆったりと居心地良く過して頂ける様に、明かりや温湿度には気を付けている。また近所の方々が野菜など差し入れてくれるのでそれを利用し季節の話や調理に取り入れている。	リビングは、広くて採光もよく入り明るい。大きなガラス窓から桜島や民家が一望できる。室温等も適切に調節されて、廊下にもエアコンを設置している。壁には季節感のある作品が飾られている。キッチンも対面型でお互いの行動が良く見える。利用者はテレビを見たり雑誌を読んだり談笑したりして自由に過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングなどの共用空間ではソファに座り他の入居者と談笑する時間を楽しんだり、テーブルで雑誌などを読んだりとゆったりと過して頂いている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真など、居室にはなるべく本人が安心できる物を置いて頂く様にしている。	居室はベッド・タンス・かけ時計を設置し、家族写真やテレビ・ラジオ・位牌・タンス・布団・手作り作品等を持ち込んでいる。本人の思いや好みによって衣装掛け等を持ち込み、安心した生活ができるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来るだけご自分で出来る様にトイレや浴室の表示など分かり易い様にしている。入居者様の状態を見ながら付き添い、自立出来るように取り組んでいる。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない